

- 【 事 務 局 】 1 開 会
- 【 事 務 局 】 2 あいさつ
- 【 事 務 局 】 3 議 事
- 議 題 (1) イノシシ管理計画の策定について
- 議 題 (2) その他
- 事務局より説明
- 【 青 井 委 員 長 】 どうもありがとうございました。ただいま説明いただいたことに関してご質問、ご意見などありましたらどうぞお願いします。
- 【 宇 野 委 員 】 計画期間が今年度中の計画であり、できるかどうかわかりませんが、ゾーニングの部分について、定着地域の重点対策に捕獲技術研修や被害防除研修等の事項を記載したほうがよいのではないのでしょうか。また、捕獲や被害防除のモデル地域設定等の取組も重要と思います。さらに、警戒区域では被害が発生する前の早い段階において、イノシシの生態や分布等の情報を入手できるような研修会等があったほうが良い。
- 【 事 務 局 】 研修会については、今年度、捕獲技術の研修会を 2 回程度実施する予定としているところであり、重点対策に研修について記載したいと思います。
- 【 青 井 委 員 長 】 その他、何かありますか。
- 【 菅 野 委 員 】 現時点で岩手県内のイノシシの生息頭数を推定するのは難しいと思いますが、全国や東北地方の推定生息頭数は公表されているところであり、今後捕獲を強化するにあたっての目標設定のためにも、ぜひ、岩手県のイノシシの生息数を推定する方法を研究していただきたい。
- 【 事 務 局 】 国の推定方法は膨大な捕獲データを必要とする方法であり、岩手県のような少ない件数では計算できないので、現時点で国の推定方法に準じて岩手県の生息頭数を推定することは不可能です。しかし、何らかの指標は必要であると思います。例えば、捕獲数や農業被害額の割合に応じて東北の推定生息数を按分する等の方法で大まかに推定することはできると思いますので、今後検討したいと思います。
- 【 宇 野 委 員 】 生息数の推移を見るときに、捕獲効率と目撃効率の情報が重要であるので、ハンターの方々においては、ぜひ、出猟カレンダーを記録することをお願いしたい。
- 【 菊 池 委 員 】 目撃や捕獲情報の蓄積についてですが、先般、中央農業改良普及センターにおいて、携帯電話等の G P S を活用することにより、1 k m メッシュ単位で簡単に集約できる方法を開発したそうです。希望があれば方法等を教えてくれるようなので、自然保護課でも活用してみたいかがか。
- 【 事 務 局 】 情報提供ありがとうございます。目撃や被害の情報等については、従来 5 k m メッシュを 4 分割した単位でしか集約しておりませんでした。効果的な対策を実施するためには、より細やかな情報が必要ですので、今後、関係者からの

報告方法について検討したいと思いますし、GPS等を活用したデータの蓄積の効率化についても検討したいと思います。

【青井委員長】 その他、何かありますか。

【宇野委員】 次期計画についてですが、イノシシにGPSをつけて行動範囲を把握し、その情報を活用して農家等に対し被害防除対策を指導すると効果が高いので、そのような調査の実施について検討いただきたい。また、侵入防止柵等の対策の状況について、地図に表す等、視覚的な資料を作成したほうが良いと思います。

錯誤捕獲については、防止対策について、例えば、箱わなの脱出口の寸法等、具体的な記述とするべきだと思います。

【事務局】 GPS調査については、可能性としては十分考えられると思います。イノシシの生息状況調査については、全国的にも手法が確立していないとのことで、県としてもどのような調査をすべきか模索している状況ですので、今後調査を進めるうえで、GPS調査も含め、いろいろとご助言いただきたいと思います。

侵入防止柵の普及状況についてですが、どのような表現方法になるかわかりませんが、農業振興課と相談のうえ、検討したいと思います。

錯誤捕獲の具体的な対策については、仕様等の情報を収集し、計画に反映させたいと思います。

【青井委員長】 侵入防止柵について、県内でイノシシ専用のものはありますか。

【事務局】 イノシシの被害がある市町村に聞き取りしたところ、イノシシ被害の防除を目的とした侵入防止柵を設置しているのは一関市のみでした。その他の市町村においては、シカまたはクマの被害の防除を目的として設置した電気柵等をイノシシに対しても兼用で使用することです。しかし、シカ用の電気柵ですとイノシシは潜り込んで侵入する可能性があることから、イノシシの特性を理解したうえでの設置について指導していきたいと思います。

【青井委員長】 その他、何かありますか。

【奥田委員】 ゾーニングについてですが、この計画では定着地域を捕獲実績がある地域となっていますが、捕獲がされるような地域では既に定着が相当進んでいたり、逆に定着はしていない地域で、はぐれたイノシシがたまたま捕獲されてしまったりというようなことが有り得るため、次期計画での対応となると思います。また、モニタリング調査の結果を反映させた実情にあったゾーニング区分の検討をお願いします。

この計画は、捕獲に重点をおいた計画になっていますが、加害個体を狙って捕獲しなければ被害は減らないので、加害個体を狙った農地周辺でに捕獲について特記したほうが良いと思います。

【青井委員長】 加害個体を狙って捕獲する方法はあるのですか。

【奥田委員】 今までのイノシシの研究では、農地から約600m以内の範囲に被害を起こす個体が生息しているというデータがあります。これは地域によって違いがあるかもしれませんが、先ほど話題となったGPS調査等を実施することにより、その地域の加害個体の行動範囲が分かってくると思うので、そのようなデータを蓄積することにより、効果的な捕獲方法の検討が可能となると思います。

【 事 務 局 】      ゴーニングについては、現時点でのデータが少なく、今すぐ区分を見直すことは難しい状況ですが、今後調査を重ねながら実情にあった区分となるよう検討していきたいと思います。

加害個体を狙った捕獲については、現時点では捕獲の総数が数十頭しかない状況ですので、とにかく捕獲を強化するということとしたいと思いますが、次期計画においては、今後捕獲が増えていくなかで、先ほどお話のあったGPS調査等によりイノシシの行動範囲を把握したうえでの捕獲方法について検討する旨触れていきたいと思いますが、場合によっては5年間の計画期間の途中においても、有力な情報等が整理できた場合には、計画内容の変更も有り得ると思っています。

【 青 井 委 員 長 】      次期計画については、検討をお願いします。その他、何かありますか。

【 米 澤 委 員 】      計画の中に、県の役割、市町村の役割等々記載されておりますが、先ほどお話があった農業改良普及センターについて、地域の被害状況によって温度差があるように思います。県全体的な支援体制を構築していただくようお願いしたい。

【 青 井 委 員 長 】      その他、何かありますか。

【 小 崎 委 員 】      一関市では、県内で最初にイノシシ被害が出たということで、当時はとにかく何かしなければならぬということで試行錯誤しながら対策してきた経緯があります。今後区域が拡大していくなかで、各市町村において、いろいろな事例を参考に対策を実施できるように情報を共有していただきたい。併せて、捕獲の担い手の確保・育成について、岩手県ではシカやクマについては長年のノウハウがあると思うが、イノシシについては、ほとんど知識がない状況と思われるので、県主導で全県的に技術の普及を図っていただきたい。

【 青 井 委 員 長 】      岩手県はイノシシについてはまだまだ初期段階のレベルにあるので、いろいろなところから技術等の情報を入手して対策を検討していく必要があると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

その他、何かありますか。

無いようですので、計画案については以上とします。

次に、その他ということですが、事務局から何かありますか。

【 事 務 局 】      (事務局から、計画策定までのスケジュール及び次期計画策定について説明)

【 青 井 委 員 長 】      只今の今後のスケジュール等について、何かありますか。

無いようですので、これで本日の議事を終了としたいと思います。ここで、進行を事務局にお返しします。ありがとうございました。

【 事 務 局 】      閉会